

高等学校 家庭基礎・家庭総合	これから的人生(暮らし)に向けて、貯める・備える <small>(2025.9)</small>
---------------------------	--

1. 本時の位置付け

本時は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)及び同解説【家庭編】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【貯める・備える】 資産形成の基本	家庭基礎 C(1) ア 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。 <解説> ・リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解する。 ・基本的な金融商品の特徴(メリット・デメリット)、資産形成の視点に触れる。
展開②	【備える】 保険の仕組み	家庭基礎 C(1) イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察すること。 <解説> ・リスクに備えた経済的準備としての資金計画を具体的な事例を通して考察できるようになる。

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類4 金融分野共通」、「分類5 保険商品」、「分類7 資産形成商品」、「分類8 外部の知見の適切な活用」の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・ 「長期・分散・積立」により、投資におけるリスクを減ずることができると、理解する。
- ・ 「自助・共助・公助」に着目し、資産形成と保険の違いについて、理解する。

3. 評価のポイント

- ・ 「長期・分散・積立」により、投資におけるリスクを減ずることができると、理解している。
- ・ 「自助・共助・公助」に着目し資産形成と保険の違いについて、理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

導入3分	テーマ	学習活動 (●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開① 27分	資産形成の基本 ③	●投資について、代表的な3つについて学び、リスク減についても合わせて学ぶことを説明する。 ○本時に学習する内容を、理解する。	
		投資にはどんなものがあるか？ リスクを減ずるにはどのような方法があるだろうか？(#41～58)	●投資(株式・債券・投資信託)について説明する。(#41～43) ○投資(株式・債券・投資信託)について理解する。(#41～43)
			・投資の仕組みについての詳細は、公民科で学ぶので、家庭科では概要のみの説明でもよい。 ・投資には、さまざまなものがあり、自分で選べることに着目できるとよい。 ・#43で「投資信託」が「組み合わせたもの」(分散投資)であり、「専門家が運用」(一定の費用でお任せする)ものであることに着目できるとよい。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開① 27分		<p>●「リスクを抑える方法」について説明する。(#44～54) ○「リスクを抑える3つの方法」について理解し、ワークシート1に記入する。(#44～54)</p> <p>(問)2024年1月から制度が新しくなった投資制度を知っていますか?(#55)</p> <p>●NISAについて説明する。(#56～58) ○NISAについて理解し、制度が新しくなっていることに着目する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● #45で「長期・積立・分散」の3つがあることを強調する。 ● #46～53で、3つそれぞれの詳細を説明する。 ●投資を支援する制度であること、制度は変わるので自分で調べる必要があること、調べるツールの一例として#58があることを説明し、生徒が自主的に学び続ける礎にできるとよい。
展開② 17分	社会保険と民間保険	<p>人生におけるリスクと、それに対する備えとは、何だろうか?(#60～68)</p> <p>●人生のリスクと保険制度について説明する。(#60～65) ○人生において想定されるリスク、それへの備えについて理解する。(#60～65)</p> <p>●実際にある民間保険はどれ?(#66、67) ●資産形成と保険の違いについて説明する。(#68) ○具体的な保険の存在を知り、資産形成と共に保険が重要であることを理解し、ワークシート2、3に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● #61～65は、福祉や社会的支援の学びの箇所で詳しく取り上げ、ここでは概要のみの説明としてもよい。
まとめ3分		<p>●本時を振り返りつつ、次回家計管理と支出について学ぶことを予告する。 ○ワークシートの記入を確認し、提出する。</p>	

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート
これからの人生(暮らし)に向けて、貯める・備える
年組番 名前
1. 投資の主なリスクを抑えるための方法について考えよう。 (1)投資リスクを抑える方法3つを書こう。 <ul style="list-style-type: none"> ・長期投資 ・積立投資 ・分散投資
(2)次の文の〔 〕内の、適する方に○を記入しよう。 少額積立で株を購入する。毎月5千円ずつ購入すると、株価が高い時は購入数が〔多く 少なく〕なり、株価が低い時は購入数が〔多く 少なく〕なる。購入時期が〔集中 分散〕するので、値上がり・値下がりのリスクを抑える(平準化)効果がある。
2. 人生のリスクとその備えについて考えよう。 (1)人生のさまざまなリスクで、気になるものを2つ上げよう。(スライドも参考にしてみよう) <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故 ・病気 ・怪我 ・火災 など
(2)「自助・共助・公助」について知ろう。 ①「自助」に当たる行動を一つあげよう。 預貯金／民間保険 (記入は、このうちの1つ)
②「共助」に当たる制度を一つあげよう。 社会保険／公的年金／公的医療保険(健康保険)／介護保険 (記入は、このうちの1つ)
3. リスクに備えるために、民間の保険を活用した方が良いと考えられる例を2つ挙げてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・生命保険 ・ペット保険 ・自転車保険 ・旅行保険 など

これから的人生(暮らし)に向けて、貯める・備える

年 組 番	名前
-------	----

1. 投資の主なリスクを抑えるための方法について考えよう。

- (1) 投資リスクを抑える方法 3 つを書こう。

- (2) 次の文の〔 〕内の、適する方に○を記入しよう。

少額積立て株を購入する。毎月 5 千円ずつ購入すると、株価が高い時は購入数が〔 多く 〕・〔 少なく 〕なり、株価が低い時は購入数が〔 多く 〕・〔 少なく 〕なる。購入時期が〔 集中 〕・〔 分散 〕するので、値上がり・値下がりのリスクを抑える(平準化)効果がある。

2. 人生のリスクとその備えについて考えよう。

- (1) 人生のさまざまなリスクで、気になるものを 2 つ上げよう。(スライドも参考にしてみよう)

- (2) 「自助・共助・公助」について知ろう。

- ①「自助」に当たる行動を一つあげよう。

- ②「共助」に当たる制度を一つあげよう。

3. リスクに備えるために、民間の保険を活用した方がよいと考えられる例を 2 つあげてみよう。